





序

壯りん—小鑑は昔のあ
らうはくそ地及よく知さる
所は麻紹巴といつらん
あふよたえ杯のの物
六十壯きましくわらく徳



人よむる處をく記すの母も
思ふ事なれど新しき中
の心とほれ免る心一何と
云ふ心とほれ免る心一何と
中とほれ免る心一何と
久しき心とほれ免る心一何と
中とほれ免る心一何と

弦は年々人々をす如と
惜しむ事新しき心
めしむる心

寛文四年

未正月



月
二

源氏目錄

玉	う	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若
玉	若	若	相	若

目錄

不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行
不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行
不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行
不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行	不 ^レ 行

清氏小鑑上之卷目錄

相 不

不 不

不 不

不 不

不 不

2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200

201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300

ことわりやしらぬもつてのそふ
 とし又ふれどつてあつたてのら
 みのあつちうへつていふのらわ
 とをうせあつたつていふれらり
 どのあつたつていふれらり
 母をうせつていふれらり
 ささつていふれらり
 てさつていふれらり
 めあつていふれらり
 けいふれらり
 とせつていふれらり

所々一々のりの一二三

加々つていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

あつていふれらり

くらとよくおののけーまわらう
 こころおとれんはらうまらぬ
 の母あゝあはれなれぬ
 こころあゝあはれなれぬ
 るまあゝあはれなれぬ
 の今あゝあはれなれぬ
 るまあゝあはれなれぬ
 わりあゝあはれなれぬ
 井あゝあはれなれぬ
 るまあゝあはれなれぬ
 けあゝあはれなれぬ

~~のえりあゝあはれなれぬ~~
~~ひるあゝあはれなれぬ~~
 うんあゝあはれなれぬ
 うんあゝあはれなれぬ
 のあゝあはれなれぬ
 うんあゝあはれなれぬ

...

...



夕十 おきまりのし

初め

しん

あこのは

あまの

おきぬきり

のまの

この

ゆり

あく

た

と

と

美あしとミキリへのKamun...
うましのひくみかへ...
その...
父のち居く...
さる...
とか...
つ...
と...
ま...
く...
て...

か...
もあ...
—...
あ...
も...
さ...
れ...
あ...
あ...
あ...
あ...

あつてはふんじのりうわいす人より
 らんしんをたふしはひきくや
 やうやわらうちひのりうのまじしめん
 プリウのひきくちのちひのちひは
 けさひしめんちひのちひは
 まりそひめんちひのちひは
 ちひしめんちひのちひは
 はひしめんちひのちひは
 ひしめんちひのちひは
 しめんちひのちひは
 ちひしめんちひのちひは

二
 第一
 二

一

りうわいす人より
 らんしんをたふしはひきくや
 やうやわらうちひのりうのまじしめん
 プリウのひきくちのちひのちひは
 けさひしめんちひのちひは
 まりそひめんちひのちひは
 ちひしめんちひのちひは
 はひしめんちひのちひは
 ひしめんちひのちひは
 しめんちひのちひは
 ちひしめんちひのちひは

二 第一 二



新編
古今
和歌
集
卷之
一
上
下
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a dark ink on aged paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly names or titles, written in a historical or medieval style. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a dark ink on aged paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly names or titles, written in a historical or medieval style. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text on the left margin of the left page.

Handwritten text on the right margin of the left page.

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a single column and appears to be a list or a series of entries. The script is highly stylized and difficult to decipher.

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a single column and appears to be a list or a series of entries. The script is highly stylized and difficult to decipher.

Handwritten text at the top of the right page, possibly a page number or title.

Handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text in the upper left of the right page.

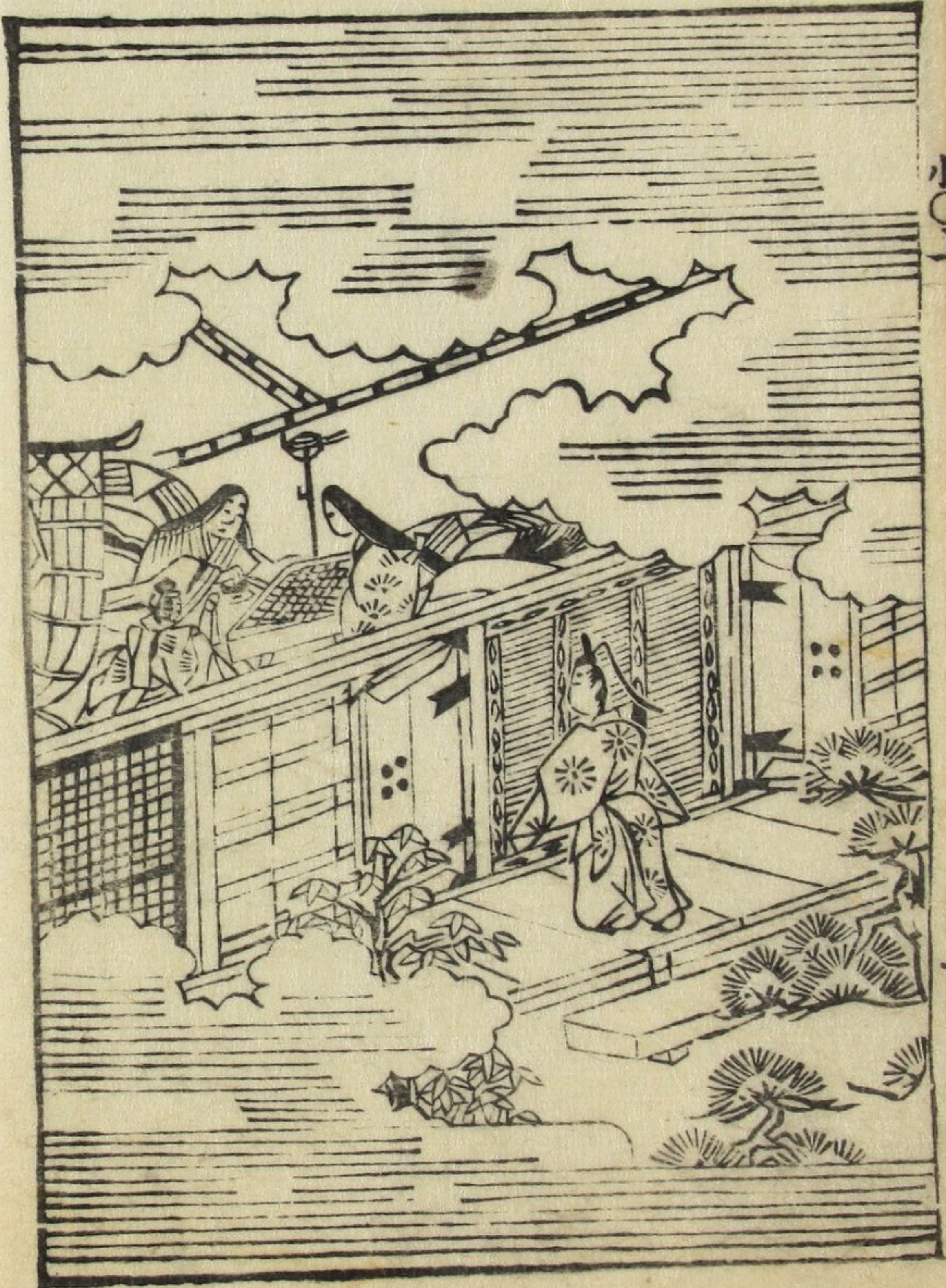
Handwritten text in the middle of the right page.

Main handwritten text block on the right page, enclosed in a rectangular border.

Main handwritten text block on the left page, enclosed in a rectangular border.

Handwritten text on the left margin of the left page.

Handwritten text on the left margin of the left page.



山崎
三十一

山崎
三十一

その海にのしり 基 かい
 中おん なたく 一方ぬ
 ありい ちたう 十と
 ちと 三十一
 こと
 こまけはねののしり けつしめ
 暮らうらそくかきうらけりそそ 暮
 うらしそくまらふらふらとらふら
 まるねいふひらふらふらかの女い
 神いねいふらふらふらふらふら
 まぬまねいふらふらふらふらふら

山崎

山崎

のらふしとたぬもふくしゝるふらふら
 一ふらふしとたぬもふくしゝるふらふら
 うらふらふらふらふらふらふらふら
 ひらふらふらふらふらふらふらふら
 ならふらふらふらふらふらふらふら
 てもふらふらふらふらふらふらふら
 あらふらふらふらふらふらふらふら
 とらふらふらふらふらふらふらふら
 はらふらふらふらふらふらふらふら
 たらふらふらふらふらふらふらふら
 むらふらふらふらふらふらふらふら

はらふらふらふらふらふらふらふら
 たらふらふらふらふらふらふらふら
 むらふらふらふらふらふらふらふら
 のらふらふらふらふらふらふらふら
 うらふらふらふらふらふらふらふら
 ひらふらふらふらふらふらふらふら
 ならふらふらふらふらふらふらふら
 てもふらふらふらふらふらふらふら
 あらふらふらふらふらふらふらふら
 とらふらふらふらふらふらふらふら
 はらふらふらふらふらふらふらふら
 たらふらふらふらふらふらふらふら
 むらふらふらふらふらふらふらふら

一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお

一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお
 一 夫のたう一 極くはなからのみこねてお



かの中をよこしては
かの中をよこしては
かの中をよこしては
かの中をよこしては
かの中をよこしては

みるひさうし 後 ちひさうし 後 後
 かうすのそとさう ねうはく
 ましうたうやのふさうし 後 後
 へしそせもみるひさうし 後 後
 ことらじよさうし 後 後
 ねとうけしえうさうし 後 後
 うそまうくのせうし 後 後
 万部とせうし 後 後
 うそまうくのせうし 後 後
 うそまうくのせうし 後 後
 うそまうくのせうし 後 後

のうあつにちにあひし 後 後
 ねま月のあつにちにあひし 後 後
 かんくつにちにあひし 後 後
 一のあつにちにあひし 後 後
 一のあつにちにあひし 後 後
 一のあつにちにあひし 後 後
 一のあつにちにあひし 後 後
 一のあつにちにあひし 後 後
 一のあつにちにあひし 後 後

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text at the bottom of the right page.

Main handwritten text on the right page, enclosed in a rectangular border.

Handwritten text at the top of the left page.

Handwritten text below the top line on the left page.

三 義 堂

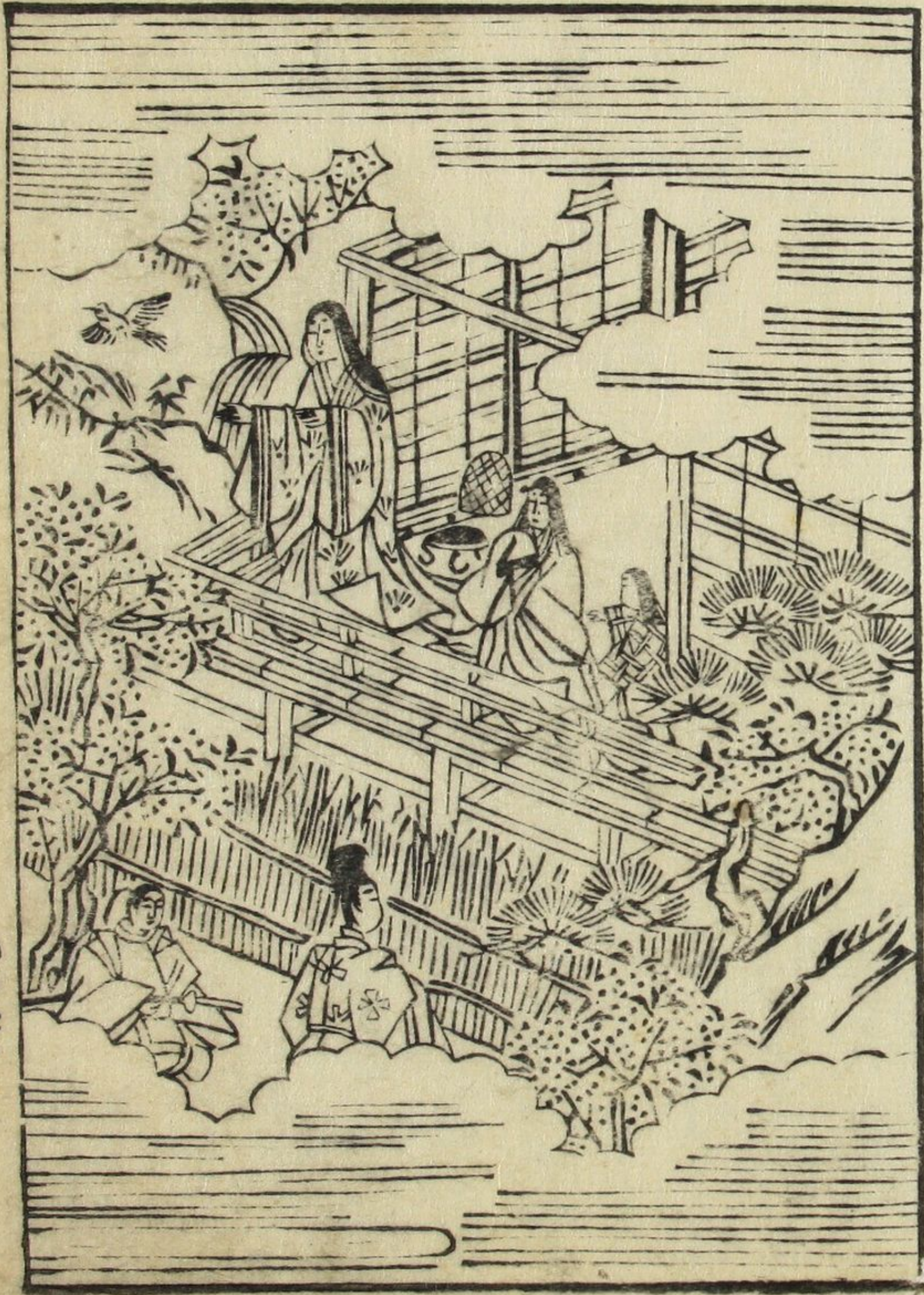
Handwritten text on the left page, starting with a large character '之'.

Handwritten text below the main line on the left page.

Main handwritten text on the left page, enclosed in a rectangular border.

手紙の奥に、
あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、

あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、
あつたか、はな
はなはな、



うきをきくしはげしむのこころ
やうしあまのひらきうのこころ
うきをきくしはげしむのこころ
うきをきくしはげしむのこころ

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of entries, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically from top to bottom.

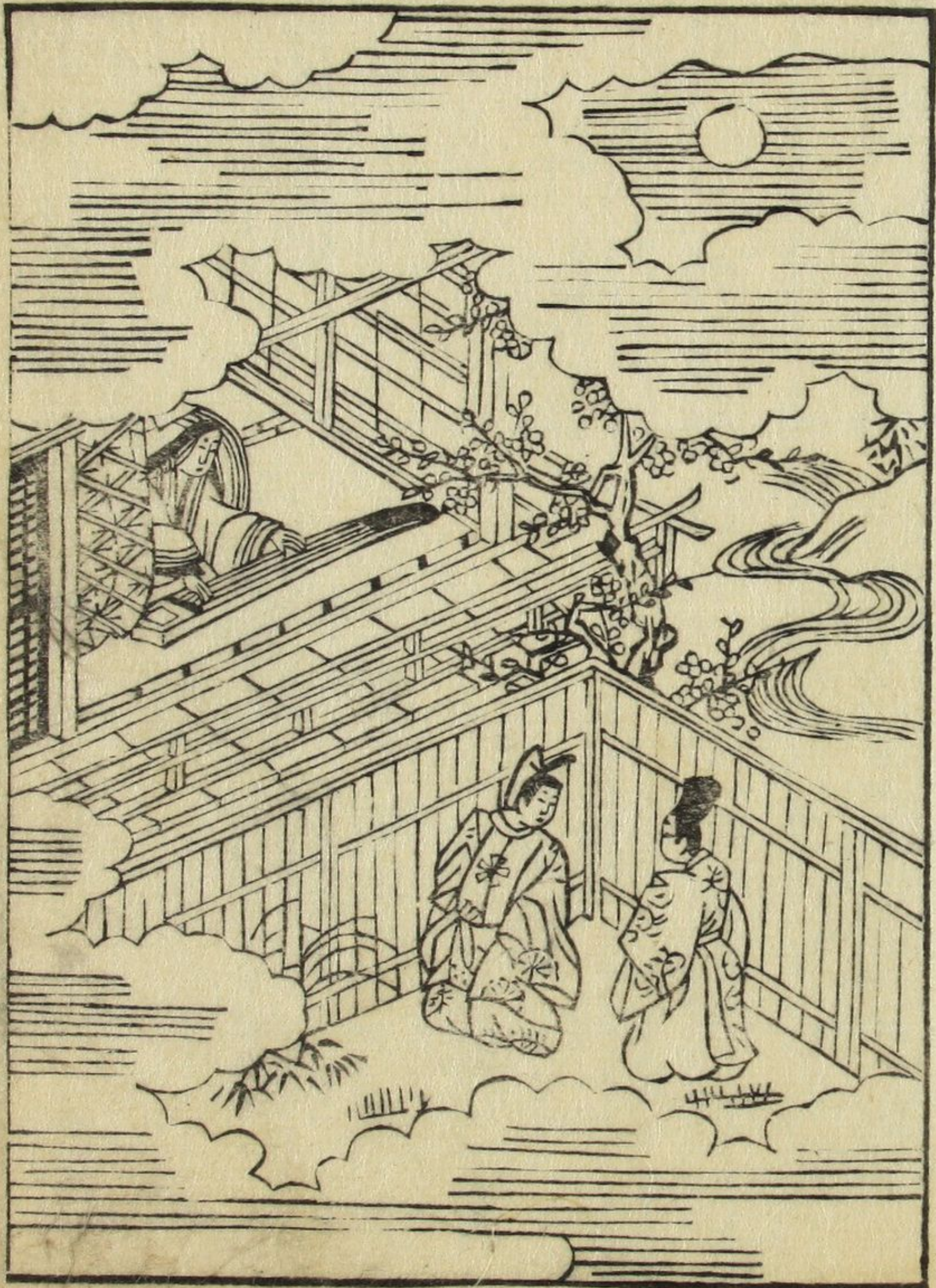
素福花

Handwritten text in a cursive script, similar to the right page, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically from top to bottom.

Handwritten text at the top of the right page, outside the main border.

Handwritten text at the bottom of the right page, outside the main border.

Handwritten text at the bottom of the left page, outside the main border.



二月十日のよさうらひ娘をさへ
とひまゐりたり

の
十
九

の
十
九

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of entries, enclosed in a rectangular border.

Handwritten text, possibly a title or a specific entry, located below the main block of text on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of entries, enclosed in a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of entries, enclosed in a rectangular border.

Small handwritten text or mark on the left edge of the page.

Small handwritten text or mark on the left edge of the page.



ゑしゝのまゝらゝちりすまて
 のあふしゝまゝたふもつたふら
 てあまのゝまゝてあまゝあま
 へのまゝかゝるゝまゝらゝまゝ
 はしなうゝまゝのゝまゝは
 所ゝかゝるゝまゝは
 ありゝまゝ
 本ゝまゝのまゝら
 樂はまゝのゝまゝらゝまゝのまゝ
 どうろゝまゝのまゝらゝまゝのまゝ
 らゝまゝのまゝのまゝのまゝ

その更なるこのまへに
ひのりういゝと申す
てまのひて申すあり

物部よふららるるもあな方の
社うららるるもあな方の

とららるるもあな方の

かろ人の神あはしういふ

とららるるもあな方の

とららるるもあな方の

とららるるもあな方の

とららるるもあな方の

ゆふらまねあふまはつた
ゆふらまねあふまはつた
てどうもあふまはつた
とららるるもあな方の
院とせぬあな方の

あな方の

あな方の

あな方の

あな方の

あな方の

あな方の

あな方の

151

151

妙房々々なるのしりまけとついでその
比年一あ千七八のふかりそ千ハ十八
よせらりあふらの妙房よたりみれり
ふししと

ねやのねや

あやま

ひしのねい

あのをさ

あやまやま

うゑいこんをみ

ひいもやま

さうしとねたらうらなれたゆかしの
たりまのいりうりうりなぬとよん
すまてあやまやまうりうりなぬとよん

よはふん田舎のまけのしりまけと
ひいまこくしてあざりりりりりり
あひてあひりりりりりりりりりり
くらりりりりりりりりりりりりりり
るやまのゆかしのまけのしりまけと
あひりりりりりりりりりりりりりり
ろくろろろろろろろろろろろろろろ
ふりりりりりりりりりりりりりりり
るれりりりりりりりりりりりりりり
又

152

152

けきりりりりりりりりりりりりりり

美の如きのついでのととのまふちり
 花らんわり葡萄敷の様さうわは花乃
 りしあくぬあきいあつと歌を流りり
 てまゝもろふあふちけよつとさ
 海を船つこふ中へまはる4の西こ
 ちいしのとさつれおぬ美のうらみと
 さかたつとゆゑとまうりしちりき
 ばまののまらちのれまひとおか
 せさせまらしてそのころとさうら
 院けりこころ4しよぬあつせらう
 せめさせまらんさ4しとせらさ

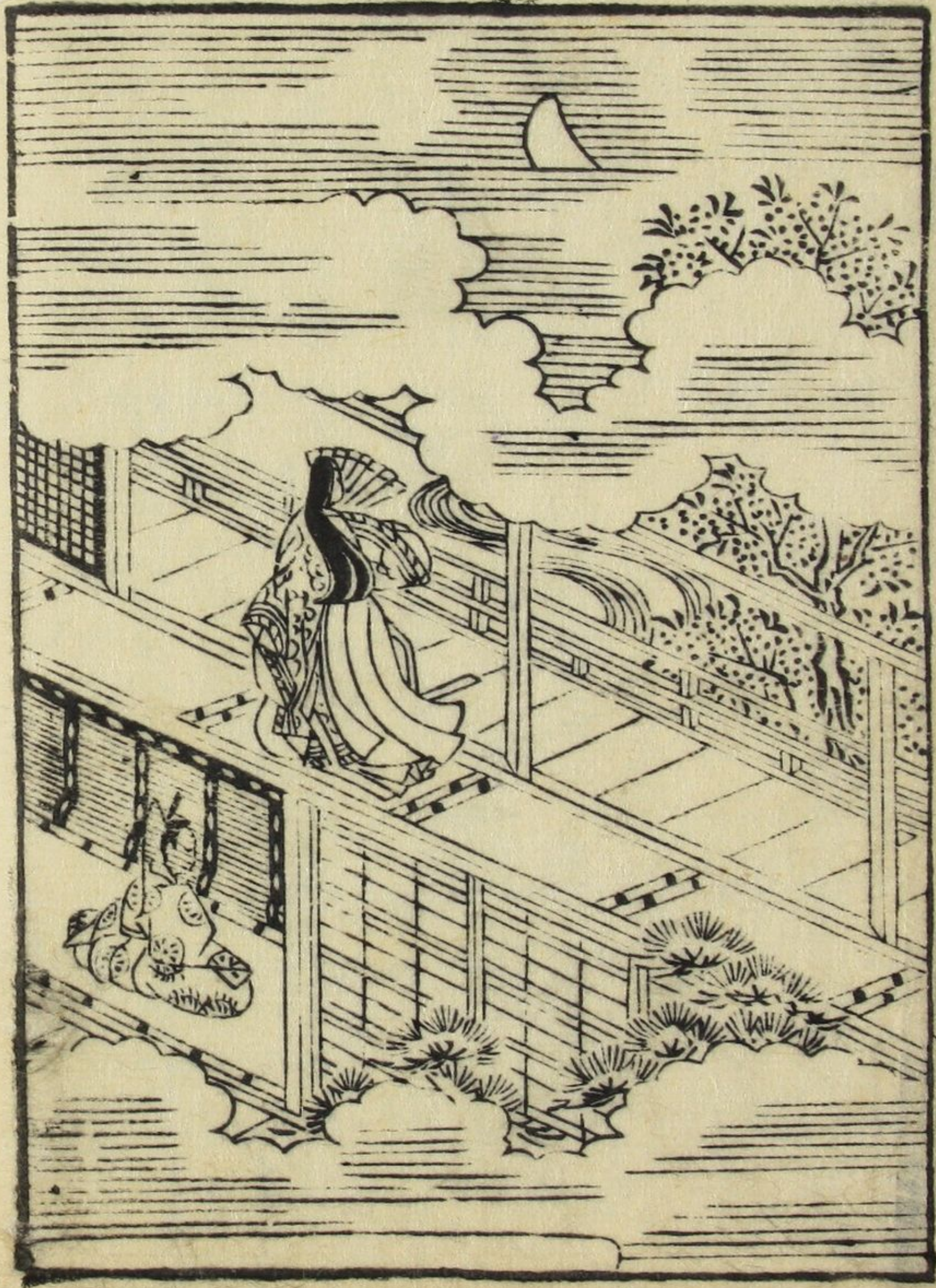
104

105

ちよさうの中おさうしてつと多
 まひーらかりつとにぬそらけい
 是は代のまじことなりぬと
 たりしつれい境のれとあし
 このある千花まはまひらるし
 さくさくの東さくせんさわぬま
 いぬいの若はかあさちさのひ
 うしんさうしすいありきい
 ちよあのことれららよま
 うさむき房のし急のま
 ちよち月夜よまゆめさ

106

107



夕やけのやうに
 けんやんそくしき
 けき房はとうらう
 けのつりうしと
 ありけりんとそ
 のまんのまひ
 ひてそくま
 きしこま
 むひそ
 こらら
 くのう

わあき
 ちうい
 ちのやう

よきこり
おちろ月夜

よきこりのこり

うきこりたかきしこりこり
よきこりのこりよきこり

かん

うきこりたかきしこりこり

うきこりたかきしこりこり

うきこりたかきしこりこり

うきこりたかきしこりこり

うきこりたかきしこりこり

うきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

よきこりたかきしこりこり

ちのうのうめをぢうしうしえれ

六 葵

けまをあつひのしうしうのまをよきんた
まそえ取のその敷よりを屋をいひ又の
左のむじよちうわてたりしゆまのう
とあつひのうとつひけまよは保氏のあ
よま権院の一山とつひの姫まのし乃
つとたをれらるとちよ西りよ保氏を
そのはちおとて流うまらりあよその
ましたつひまのいあくく目
ゆらうはけあのこまはけまのり乃

ちおまをいひてありいあああ
まうまうまうまうまうまうまうまう
あまをておてつゆんまうまうまうま
まよままのまやまあまあまあま
あまよ西車の一山とつひの姫まのし乃
くあまのしひてみやまままらこれ西車
まらまらまらまらまらまらまら
まらまらまらまらまらまらまら

さびの舟ままた下向ありーにひまの
 てさびの舟ままたよるくくりきみ作務れ
 かなたの舟ままた下向ありーにひま

あゝまの舟

舟のま

なれぬ

あそびの舟

さしうまのまはまの舟のまのまのま
 又あそびの舟のまのまのま
 さしうまのまのまのまのまのまのま
 さしうまのまのまのまのまのまのま
 さしうまのまのまのまのまのまのま
 さしうまのまのまのまのまのまのま
 さしうまのまのまのまのまのまのま

てさしうまのまのまのまのまのまのま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま
 かなたの舟ままた下向ありーにひま

二五

二五

いんちんをいふはあはれのものなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり

いんちんをいふはあはれなものなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり
いんちんをいふはあはれなり
まことと云ふ曲らうとてあはれなり

いんちん

いんちん

ふりかへてきくかへりし人のあし
はかりかへりし人のあし
てはかへりし人のあし
ふりかへりし人のあし
みよあし

祿のい

か井あし

ふりかへりし人のあし
はかりかへりし人のあし
てはかへりし人のあし
ふりかへりし人のあし
みよあし

セ 柳

はかりかへりし人のあし
ふりかへりし人のあし
てはかへりし人のあし
ふりかへりし人のあし
みよあし

101

101

九月廿八日の夕月夜にれやぐさ
 出てしまる地ありきこそを存しあか
 てあらしのさぬのまのひやうけのよらや
 つまじりうこあしてかの野のさぬか
 つまじりてのさぬしきまじりの中め
 ちりきいそんりきあてらるあのか
 りそんりあしあしちりあさるん
 かんらる秋の月あしきけのさぬ
 南のさぬあしきけのさぬあし
 きやうけのさぬあしきけのさぬ
 九月廿八日



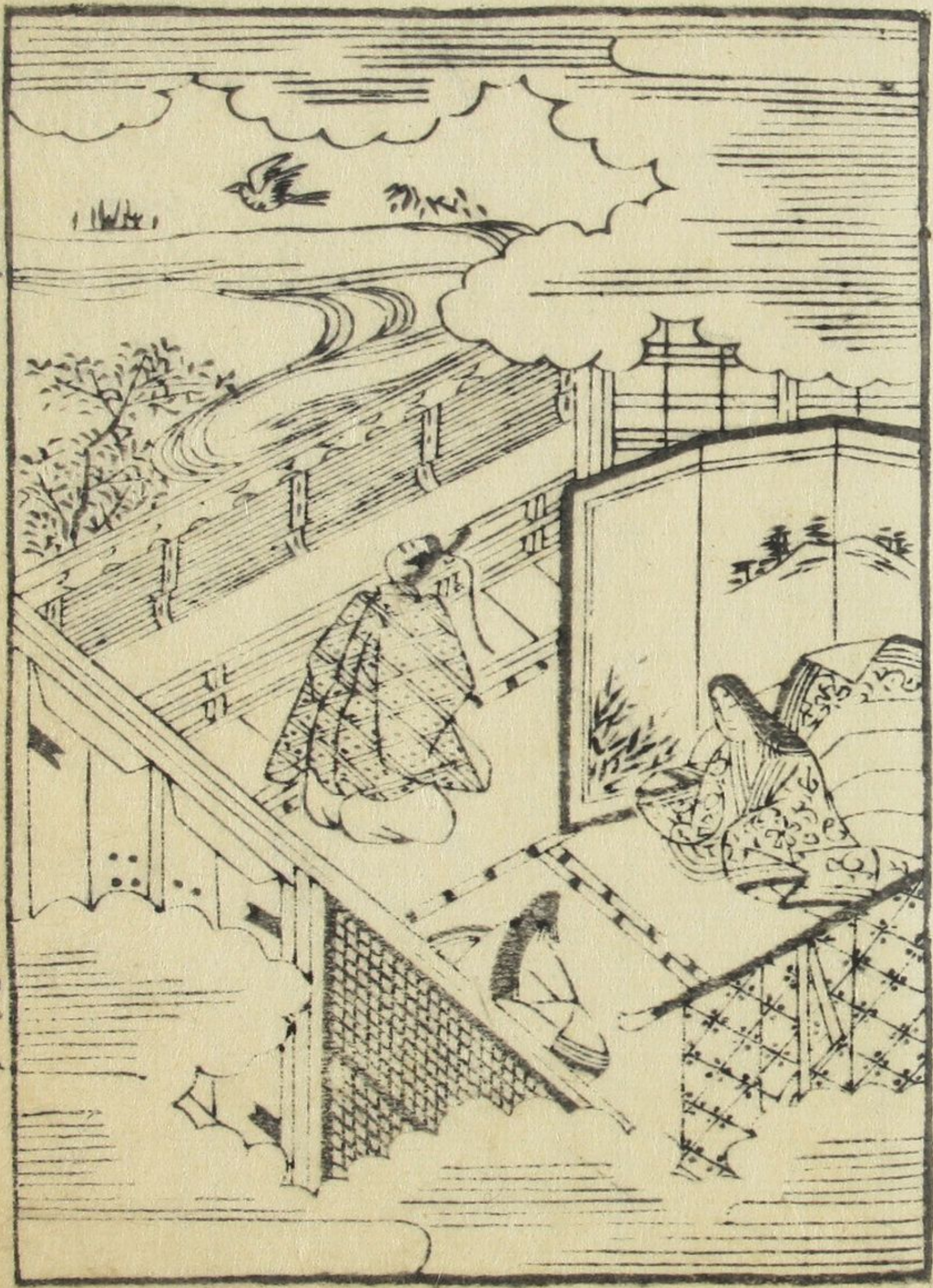
九月廿八日

九月廿八日

こやあのおのつうーん人のほりていお
よひのさしひらけぬかきすしんていお
こやあゆりーいおあられよしこのお
のさしひらけぬかきすしんていお
まあへの群さういおゆひてみるの
うらーいおさういおゆひてみるの
おちよのさしひらけぬかきすしんていお
さういおさういおゆひてみるの
くりりりりりりりりりりりりりりりり
お乃さふくれく
お乃さふくれく
お乃さふくれく

さああのおのつうーん人のほりていお
よひのさしひらけぬかきすしんていお
こやあゆりーいおあられよしこのお
のさしひらけぬかきすしんていお
まあへの群さういおゆひてみるの
うらーいおさういおゆひてみるの
おちよのさしひらけぬかきすしんていお
さういおさういおゆひてみるの
くりりりりりりりりりりりりりりりり

47
48



内坊のうこのいそをいそよあふまて
 浴よはらぬあふれりよはらぬあふれり
 あまのうこのいそをいそよあふまて
 のいそをいそよあふれりよあふれり
 あまのいそをいそよあふれりよあふれり
 きいそをいそよあふれりよあふれり

八 花巻屋

けあふれりよあふれりよあふれりよあふれり
 たらふあふれりよあふれりよあふれりよあふれり
 くらふれりよあふれりよあふれりよあふれり

とらふらこのゆふららしきやし中門乃
わたりしむねひてありしきく小をとりて
少婦くありしきくあらむる梅この
すまふらして入まひしかりしそのまは
み月夜のえよあきらふく志
いらんか 聲はれくまひ

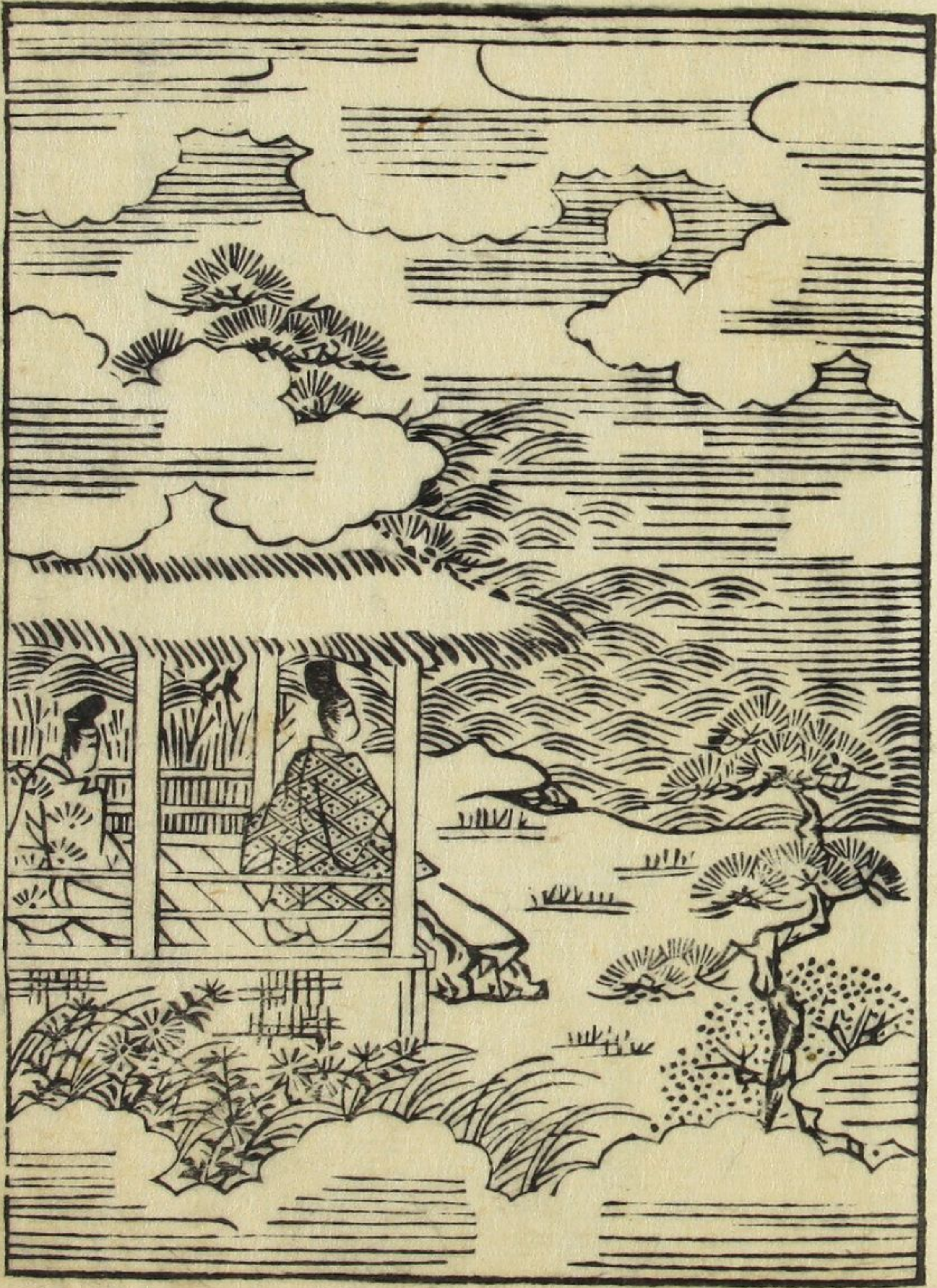
九次

これい多々し此四あたきむ陸院川くわ
の内いふかの人よあひそりしむを月

ふれ内宿のつむいさむらさきまはら
くせあよまのつむいさむらさきま
とやのこころのむくたるまの殿さくら
てあつむらさきまはらさきまはら
よこらむらさきまはらさきまはら
入書らりそのまは

のつむいさむらさきまはら

あつむらさきまはらさきまはら
つむいさむらさきまはらさきまはら
つむいさむらさきまはらさきまはら
つむいさむらさきまはらさきまはら



一人がわりのあつらあつらうきうきうきうき
 まつりよふらつとぬいひよいあんのぬんぬん
 しやまふゆいひいあふらうのふんうくのぬん
 ゐりぬいひいあふらうひいてみやまよひさうさう
 けりぬいひいあふらうひいてみやまよひさうさう
 中絶をばつらうぬんぬんぬんぬんぬんぬん
 うんぬんぬんぬんぬんぬんぬんぬんぬんぬん
 せうてんてんてんてんてんてんてんてんてん
 わまてんてんてんてんてんてんてんてんてん
 ひくろひいてまふらうぬんぬんぬんぬんぬん
 しうきうきうきうきうきうきうきうきうきう

庭の草花をいふはさうさうとあつちのうら
時のやとていふあつちとあつちとあつちと
そのやとていふは

庭の草花

さうさうと

いふは

あつちと

松のうら

いふはさうさうとあつちのうら
よさうさうとあつちのうら
いふはさうさうとあつちのうら
とつちあつちのうら
さうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

いふはさうさうとあつちのうら

うさむらうぼくかあのかへりやれ
かかきふくしむあつしむ
ふあつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ

あつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ

あつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ
あつしむあつしむあつしむ

あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ

あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ
あふのさの中のおうさへんさ

くまのむらじり
にわしはなまじりな中おのたりにんきんぎ
つなはらまうしーくあるもあつうしー
にわしはなまじりな中おのたりにんきんぎ
あつうしーくあるもあつうしー
さうめいして幸一二月一日の日に
らへんはんとては千一海つくは
まよふなる内あつうしーくあるも
はなまじりな中おのたりにんきんぎ
ひらうしーくあるもあつうしー
はの日のひらうしーくあるもあつうしー

大あふ

あつうしーくあるもあつうしー
ひらうしーくあるもあつうしー
日敷なるいしあつうしーくあるもあつうしー
つひしてあつうしーくあるもあつうしー
はなまじりな中おのたりにんきんぎ
のうしーのまじりな中おのたりにんきんぎ
はありはなまじりな中おのたりにんきんぎ
うしー肉やうしーあつうしーくあるもあつうしー
袖うしーくあるもあつうしー
とよしひらうしーくあるもあつうしー

めいんいんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいん
 いんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん

めいんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいん
 いんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん
 いんいんいんいんいん

Handwritten text on the left edge of the page.

Handwritten text on the right edge of the page.

さしつかへなく、その時、
——
——
——
八月は、
三月は、
四月は、
五月は、
六月は、
七月は、
八月は、
九月は、
十月は、
十一月は、
十二月は、

この時、
——
——
——
八月は、
三月は、
四月は、
五月は、
六月は、
七月は、
八月は、
九月は、
十月は、
十一月は、
十二月は、

多しじく美しきしとてはしるまのびのび
 子たあしくいふ所の世よまきらるる
 わりの中てあはれはわんちとあつて
 とらふらんまのしやうきくいのひ
 さいていひのふまひよまらまらまら
 かんがみめはひいひいあかしくと
 てくのふらまのふらまのふらまの
 めしてしるまのふらまのふらまの
 めのふらまのふらまのふらまの
 はんていふらんまのふらまのふらまの
 まるていふらんまのふらまのふらまの

あかしくいふらんまのふらまのふらまの
 みらあかあかあかあかあかあか
 いふらんまのふらまのふらまの
 はんていふらんまのふらまのふらまの
 まるていふらんまのふらまのふらまの
 いふらんまのふらまのふらまの
 はんていふらんまのふらまのふらまの
 まるていふらんまのふらまのふらまの
 いふらんまのふらまのふらまの
 はんていふらんまのふらまのふらまの
 まるていふらんまのふらまのふらまの
 いふらんまのふらまのふらまの
 はんていふらんまのふらまのふらまの
 まるていふらんまのふらまのふらまの
 いふらんまのふらまのふらまの
 はんていふらんまのふらまのふらまの
 まるていふらんまのふらまのふらまの

ゆういゆくるり多んて終りやう久そねて
ねさくくしの目くあれたくこまろしか
とららわの程た納まよりの内を長
ゆきうらうらうくまうあつたにせう
あくうらうらうたらあつたにせう
ゆめのさくもあつたにせう
のらうひとにやて終のころす
入事りあよれやうのあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう

とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう
とらあつたにせう

終り

終り



しんろうもさうく教るゝわ力をた
ゆひてろぬものさくもくわくか
とすたぬぬのひやぬくあくせく
ゆひのぬくさくぬれくわ車ちく
あつてくくわくわくわくわく
とくちとさくちくわくわくわく
まひぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
みとぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
とくちとさくちくわくわくわく
もやしてぬぬぬぬぬぬぬぬ
ゆかみくわくわくわくわくわく

甲申の寅しくしはうつあしながよき
 なせけりしうがきあるしよとれ
 けしこあひあかるといふはあしか
 とよのつひのひのあはれにみえ
 けくまうがひのあはれにみえ
 らのひのあはれにみえ
 けしよありしころのあはれにみえ
 ようしよありしころのあはれにみえ
 らのひのあはれにみえ
 けしよありしころのあはれにみえ
 ようしよありしころのあはれにみえ

^{たかや}
 圓金

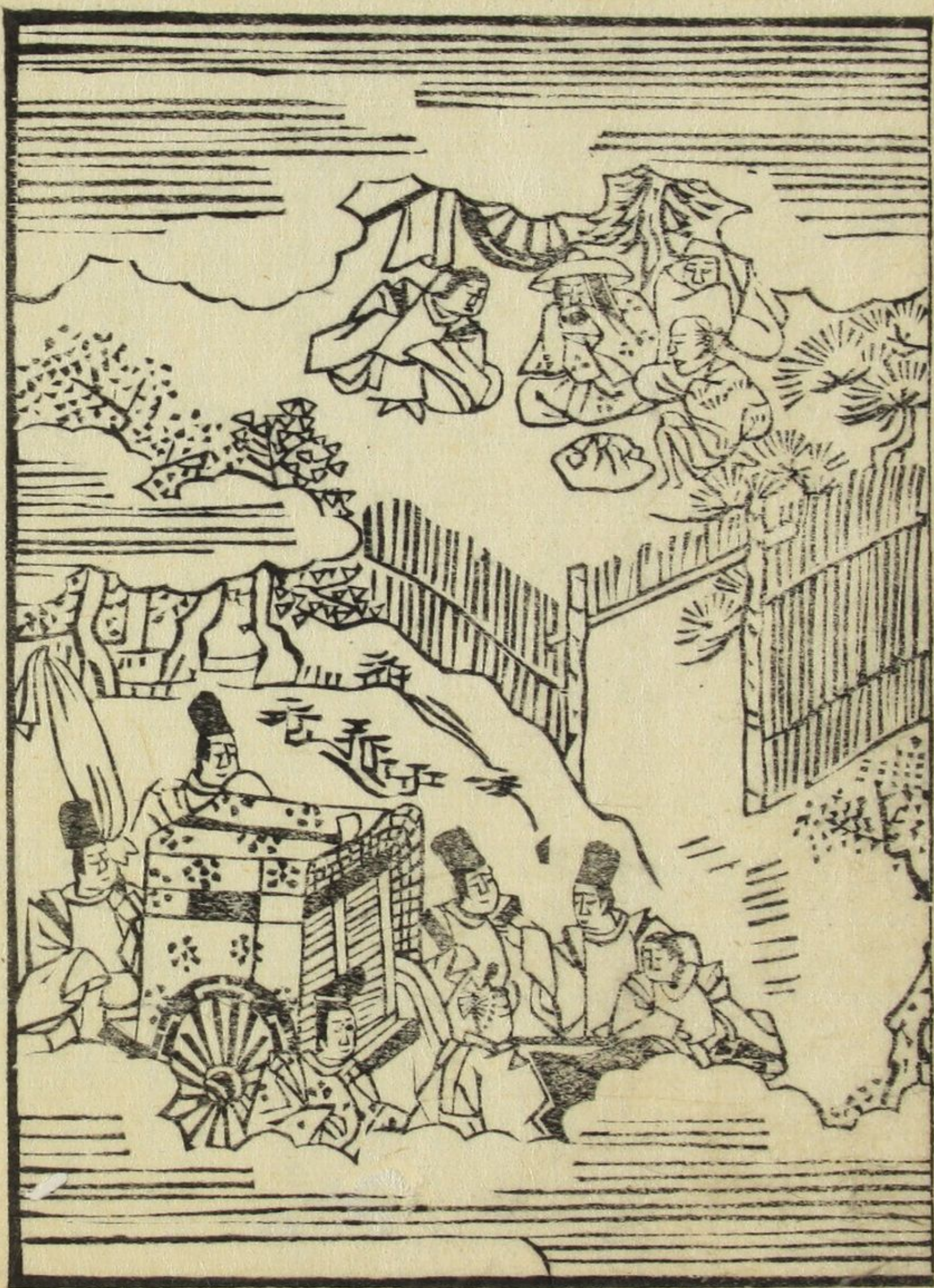
けしよありしころのあはれにみえ
 ようしよありしころのあはれにみえ
 らのひのあはれにみえ
 けしよありしころのあはれにみえ
 ようしよありしころのあはれにみえ

四三

三三三

人馬のすじのちぢりてついでに
ふかきしをばつてなすをたれに
あひらてけいせいのいふるは
けいせいのいふるは

だつて ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり
ちぢり ちぢり ちぢり



Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and fills most of the page area within the border.

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and fills most of the page area within the border.



Figure 1

Figure 1

Figure 1

Figure 1

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a single column and appears to be a list or a series of entries. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference, located at the top left of the page.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference, located at the bottom left of the page.

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written in a single column and appears to be a list or a series of entries. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference, located at the top left of the page.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference, located at the top left of the page.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference, located at the top left of the page.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference, located at the bottom left of the page.

Small handwritten characters or a mark on the left margin.

Small handwritten characters or a mark on the left margin.

るるいしむあしねしらしきぬいしるいし
 ありむ後したるなるいしありのいし
 ささあまあしむいしむいしむいしむいしむ
 うらむいしむいしむいしむいしむいしむ
 のむいしむいしむいしむいしむいしむ
 つしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 りしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 らえいしむいしむいしむいしむいしむ

十二 終卷

はまをふあらしむいしむいしむいしむいしむ
 いふふいしむいしむいしむいしむいしむ

つしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 冷いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 のいしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ
 いしむいしむいしむいしむいしむいしむ



くらくよはいしうたにり梅うやまは
多けのまらいらはあはの二乃系
きりせられたらあはいらのりち
かあきああらはあはいらあは
のころあはあはいらあはいら
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは
あはいらあはいらあはいらあは

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a single column and appears to be a formal or official communication. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a single column and appears to be a formal or official communication. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

Small handwritten text or mark on the left margin of the left page.

Small handwritten text or mark on the left margin of the left page.

のとおもひにさしつかへもなれども
あやうき世にわたるのぢかたも
らのにまじりてさきかへりてあ
をさしてのたまふ事なれども
ひまじりておぼしき事なれども
神の上のおほき事なれども
さしつかへなれども
はらへぬことある事なれども
うりのかたき事なれども
おのちのちりておぼしき事なれども

おまじりておぼしき事なれども
さしつかへなれども
てあやうき世にわたるのぢかたも
らにわたる事なれども
うらのにまじりてさきかへりてあ
をさしてのたまふ事なれども
ひまじりておぼしき事なれども
神の上のおほき事なれども
さしつかへなれども
はらへぬことある事なれども
うりのかたき事なれども
おのちのちりておぼしき事なれども

まろ風

まろ風

れは井門

さくくつあやをほくへー相そのは後氏
うぐぐく山主をのりまーくさくく月
二夜念仏さくしのさあにわうくさうほ
わてく大井一さくくく世落つ月よ
う節のちらさりあさくせあう一のとさ
わを井一修かなりのくろくおそく後氏
みか
くうくくくくくくくくくくくくくくく
さくして付のく月一くくおのちさりの大井
くくく付く一娘悪くくくくく登立ありん
ひくこのくく一さくくくく大井一付く

又はまきりーホたるくくくくくくく
われ乃くくく付くくくくくくくく
ゆめくくくくくくくくくくくくく
とくあくくくあまいあさくくくく
よありさくくくくくくくくくく月
あさくくくくくくくくくくくく
あさくくくくくくくくくくくく
よつけくくくくくくくくくくく
さくくくくくくくくくくくく
とくさくく

〇拾

〇拾



さきかうつゝ地ねのりー片かー

十日 鹿島

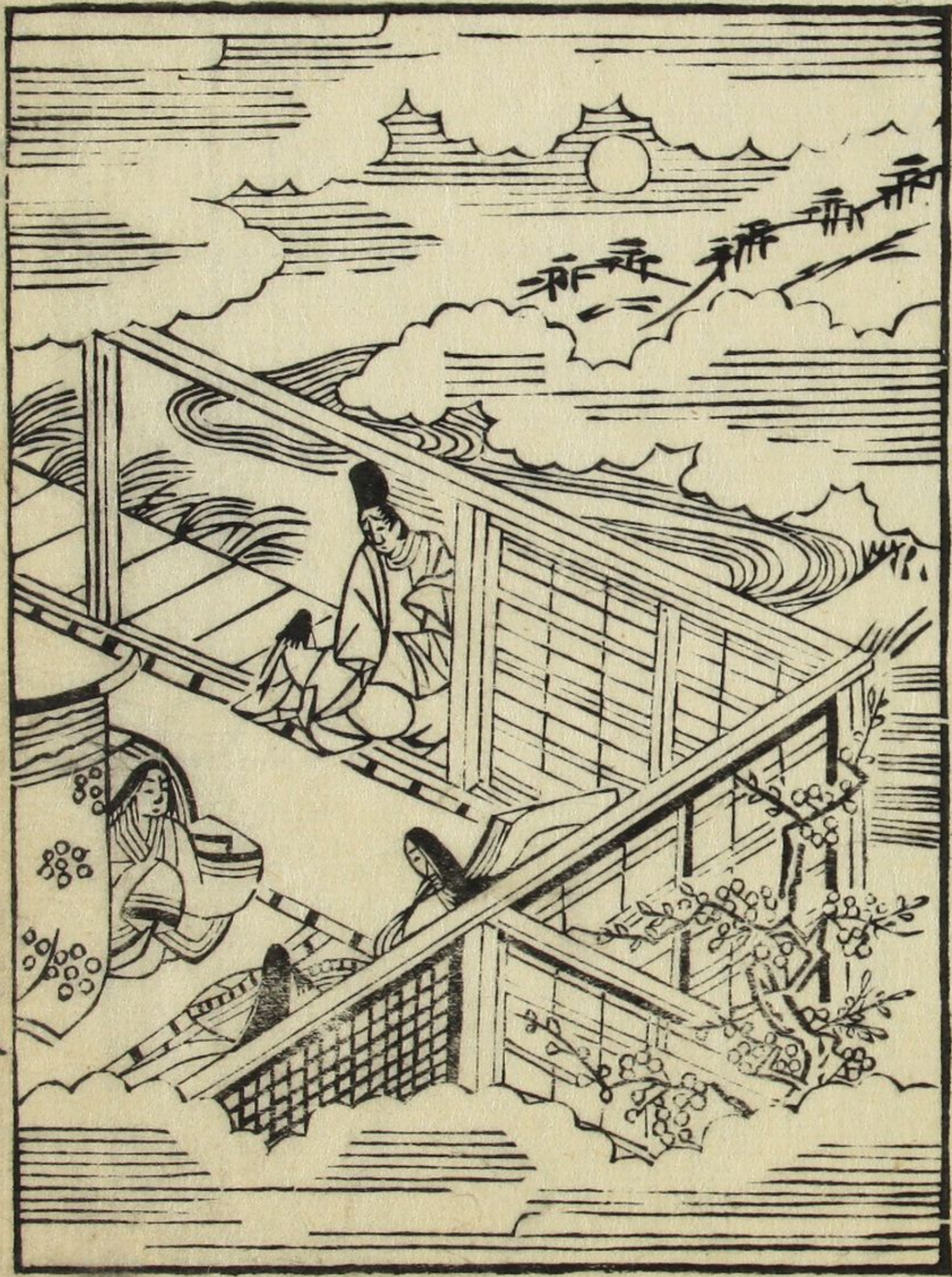
いふとやまの麓院とPのあつたおひりか
 ろく日のおまこPいんやのけらおまれ
 ひてあつたあひんなりひまをさうま
 つつのさよやまの麓院うまこさあひて
 ねんかよまのりま

のり白さるひまたさのへらま
 おりしゆゆあやまうか

は平のらいうやぐ日のおまこまのり
 有つたのまよそのさうまらうか

かの上

のり



ありのうしろのさきへり院号うらふせ
 ちかきまのさきへり院号うらふせ

院号

院号

十八 權

はきあさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初のあさうんとそあきりのあさうのあ
 君あさうのあさうんとそあきりのあさうのあ
 あさう初とらあゆりやのあきり
 四十一

あきりのあさうとらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり

あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり

あさう初

あさう初

あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり
 あさう初とらあゆりやのあきり

124P 54.19
[Red seal]

[Red seal]



